学校の教育目標「美しい心をもち　自ら考え　たくましく　やりぬく子」

半布里

富加町立富加小学校　校長　小森　明彦
℡　0574 - 54 - 3303　児童数 305 名
2016 年 6 月 28 日発行　学校だより№4

「書くことで鍛える」

私が教員になった頃の学級通信は手書きでした。毎週のようにボールペン原紙で印刷した学級通信を生徒に一枚ずつ配っていました。それがいつしかワープロ、そしてパソコンの登場により、鉛筆やペンで文字を書く機会はめっきり少なくなりました。

ある時、１年生が校長室を訪ねてきました。もらったカードを見ると、習ったひらがなを使ってていねいに自分の名前を書き、裏には手書きのイラストが入っていました。とっても温かい気持ちになりました。

また、６年生は「未来がよりよくあるために」というテーマで意見文を書きました。1600 字を超える長文です。こうした長文を書くときには、まず根拠となる情報を集め、内容を整理し、文章を構成します。したがって論理的に考えたり、筋道立てて書いたりする力が鍛えられます。43 名全員の意見文を読みました。

「お年寄りの方と仲良く、それはよりよい未来への第一歩」

「この世で一番のものは何だろう」

「このきれいな自然をどのように守っていくか」

どれも力作ぞろいでした。きっと下書きから手直しを繰り返し、そして清書と何度も書いたことでしょう。その中で次の２名は代表として、先日開催された「青少年を守るつどい」で発表しました。堂々とした話しぶりは立派で聞いていてうれしくなりました。

「夢を持つ」６年　吉田寛人

※将来、発明家になりたいという夢についての意見文です。その中には、白熱電球を発明したエジソン、紙を発明した蔡倫が登場します。きっと、彼らの本を読んだのでしょう。そんな先人にあこがれ、自分も努力して夢をかなえると言い切ります。そんなまっすぐな気持ちがうれしくなりました。

「あたり前のことができるというのは幸せ」６年　平田瑛都

※自分の入院、手術という体験を、その日の時間の経過と共に、心配する家族とのやり取りも含めて、当時の状況をリアルに表現しました。きっと、作文を書くにあたって家族に聞き取りをしながら、改めて命の大切さ、家族の有難さについて考えたことでしょう。優しい気持ちが伝わってくる意見文でした。

授業中、静まり返った教室で鉛筆を走らせている音が聞こえてくることがあります。書くことは静的ですが、書く活動を通して、子どもの頭と心が鍛えられると確信しています。書くということはアクティブで子どもの主体的な活動なのです。いえ、子どもだけではありません。今年 80 歳を迎えた私の母は、最近日記を付け始めました。

７月の主な予定

1	金	アルミ缶回収・読み聞かせ、確かめテスト P 参観日・懇談会・食指導（２年） PTA 救命講習会（６年保護者） １５：１５一斉下校
4	月	図書貸出終了　自転車教室週間（学年ごとで日を設定）
5	火	音楽療法　　クラブ
6	水	フッ素、児童集会、図書返却完了
7	木	委員会
8	金	ピカピカ週間（～15 日）
11	月	交通立番　絆の日　通学班会　15:00 一斉下校 **学費引落日**
12	火	ラジオ体操練習　クラブ
13	水	レインボーリング　フッ素　夏休み図書貸出開始日
14	木	ラジオ体操練習
15	金	ロング掃除　15:15 一斉下校
18	月	海の日
19	火	
20	水	終業式　給食あり　14:00 一斉下校

夏休み	８月２８日（日）まで
個人懇談	７月２１日（木）～２６日（火）
プール最終日	８月　９日（火）
加茂郡ＰＴＡ研究大会（七宗）	８月２１日（日）
PTA 環境整備（雨天決行）	８月２７日（土）
第２学期始業式	８月２９日〈月〉

６月１４日（火）に４年生と５年生が田植えを行いました。はじめは恐る恐る泥の中に入っていましたが、すぐに植え方のコツを覚え、泥の感触を楽しむようにみんなで植えることができました。秋の収穫が楽しみです。

６月１５日（水）には３年生が社会科の授業として郷土資料館に行ってきました。学芸員の島田先生にたくさんの資料を見せてもらい、富加町は古くから栄えていたことを知ることができました。

「命」について学ぶ ～宮城研修に行ってきました～

６月２３日（木）・２４日（金）の２日間、６年生は宮城研修に行ってきました。本校では「命」の教育を大切にしていますが、この研修も「絆の日」の実践と関わらせて行っています。東日本大震災の被災地を訪れることにより、命の尊さを身をもって感じ取ってほしいとの願いが込められた本研修は、今年で４年目になります。

この日はあいにくの雨模様。肌寒い１日でしたが、子ども達は復旧工事を進めている旧戸倉中学校や防災庁舎跡を見学し、実際にその場に立って海との距離や高さを実感しながら被災された語り部さんのお話を聞かせていただきました。震災時の様子や対応の困難さなど、当時のことについて知り、被災した時の宮城の人々の思いにふれることで「命の尊さ」を実感することができました。

～ 宮 城 研 修 報 告 会 ～

６年生が宮城で見て感じたことを下記の日程で報告します。是非ご覧ください。（どなたでも結構です）

◆７月１５日（金）　◆８：３５～１０：１５　◆富加小学校　体育館